

第1回石岡地域市民医療懇談会 報告書

平成30年6月25日、午後7時から、石岡保健センター2階会議室にて、近隣市の行政・医療機関・市民が地域医療の課題について話し合う石岡市・かすみがうら市・小美玉市3市合同「第1回石岡地域市民医療懇談会」を開催しました。

この報告書は、当懇談会で話し合った意見を広く、石岡地域の市民へ届けることを目的に作成し、別紙の石岡地域市民医療懇談会の会議録概要とともに、一人でも多くの市民に知っていただけるように、各市のホームページなどで公表します。

●石岡地域市民医療懇談会設置のねらい

当懇談会は、石岡市、かすみがうら市及び小美玉市の地域の医療関係者、市民代表の方、そして行政がともに地域の医療体制の現状や課題、それらについて情報の共有を図り、広い視野で今後の地域医療の在り方を考えて、一緒に将来の姿を模索していくために設置しました。

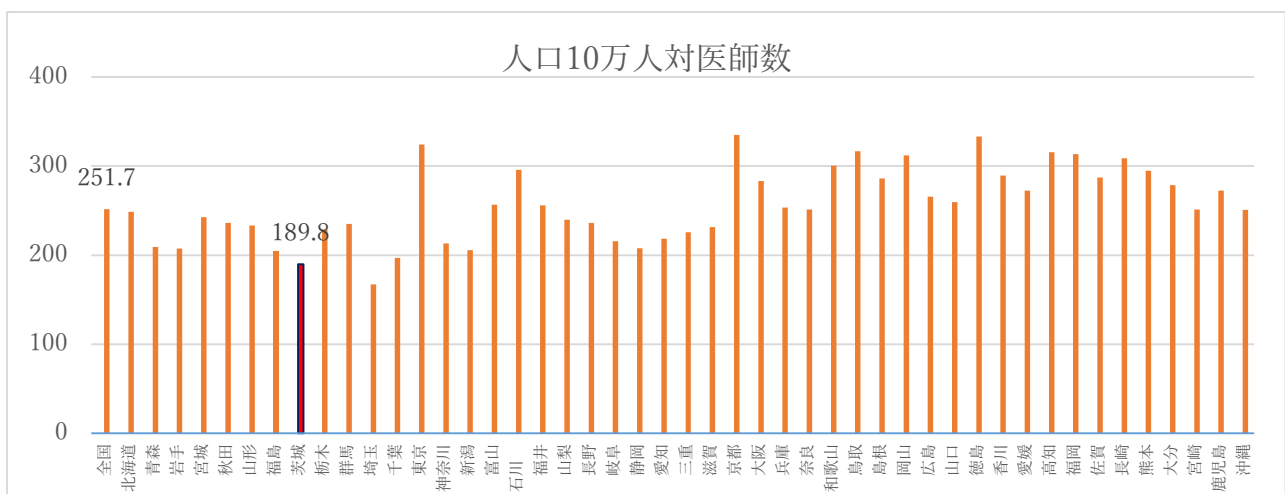


●石岡地域の医療体制の現状、課題等について

【医療従事者（医師，看護師等）の確保】

（現状・課題等）

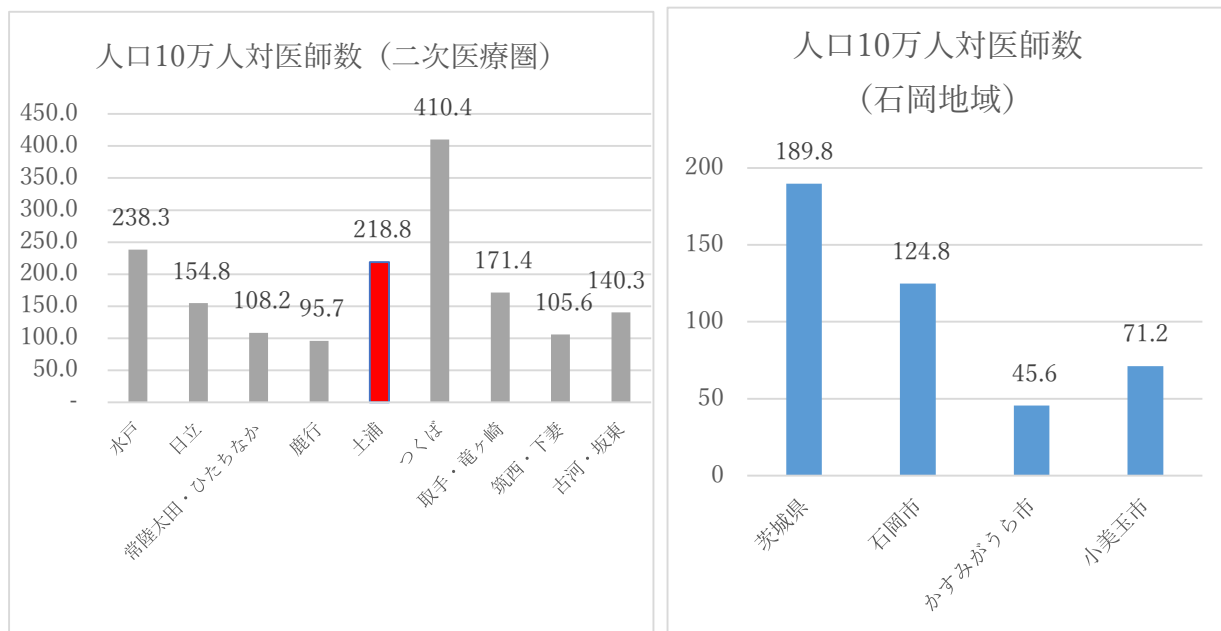
単位：人



（H28 厚生労働省 統計表より作成）

○茨城県は人口 10 万人対従事医師数が全国ワースト 2 位！

- ・県内の医療従事者数について、近年、医師数は増加しているが、全国と比較すると、人口 10 万人対従事医師数は、189.8 人と全国平均 251.7 人を大きく下回り、全国ワースト 2 位となっています。歯科医師、薬剤師数についても全国平均を下回っていますが、歯科医師数は国が設定している目標値である、人口 10 万人対従事者数の 50 人を超え、66.6 人となっています。保健師、助産師、看護師および准看護師の総数は、1,003 人と全国 43 位となっています。



(H28 茨城県 統計表より作成)

○さらに、石岡地域の人口 10 万人対従事医師数は全国平均の半分以下！

医師の高齢化等により、近い将来、医者がいない地域になる可能性も！！

- ・石岡市、かすみがうら市、小美玉市の 3 市については、人口 10 万人あたりの医師数が全国平均の半分を切っており、深刻な医師不足となっている状況です。中でも、小児科および産婦人科の医師数が少なく、特に、産科を扱う医療機関は、現在、石岡地域にない状況です。
- ・石岡市医師会管内の医療機関、特に石岡市においては、15 年以上新規開業がなく、ここ 10 年で 5 件が廃業しており、医師の高齢化（医師会平均年齢 63 歳）も進んでいます（医師会より）。今後、市民が安心して医療を受けられる体制を確保できるか危惧しています。

○県の施策等により養成している修学生医師は、県北・筑西や鹿行等へ優先配置

- ・茨城県では、筑波大で地域枠というものを設け、奨学金を出して、その代わりに将来県内に勤めてもらう施策をしています。定員予定が 100 人のところ最大 160 人近くまで増やしており、今は修行中というのですが、今後たくさん現場へ出てくるわけですが、この地域枠の人は医師の特に少ない地域に優先配置されるので、今のままだと県北・筑西や鹿行等へ行ってしまう、石岡地域には配置されないといった問題があります。

○地方だけでは対応困難，国レベルの対応を

・医師不足だけでなく，医師の高齢化や若手医師がなかなか育たないこと，医師が東京に一極集中し，地方とのバランスが非常に悪い状況であるなど，問題が山積しています。地方での医師不足や介護士不足が非常にマスコミ等でも取り上げられていますが，地方だけでは対応できない部分がありますので，医師不足や介護士不足，そのほか医師の一極集中の解消について，地方から国へ陳情し，国レベルで国会でも審議していただいで対応していかなければならない。

○民間事例を参考に

・医療業界ばかりでなく他の現場においてもここ何年か前から急速に働く人の不足が新聞などで報道されているので，そのような業界ではどのような工夫をして人を集めているかなど，民間の事例も参考になると思います。

【小児科医及び産婦人科医の確保】

（現状・課題等）

◆市町村別・診療科別（小児科・産婦人科）医師数

	医師数（人）	うち 小児科（人）	うち 産婦人科（人）
水戸保健所管内	1,021	97	45
水戸市	644	72	42
笠間市	210	11	3
小美玉市	36	9	0
茨城町	105	1	0
大洗町	17	2	0
城里町	9	2	0
土浦保健所管内	659	76	36
土浦市	396	51	27
石岡市	91	10	2
かすみがうら市	16	4	0
美浦村	8	1	0
阿見町	148	10	7

※平成 27 年茨城県保健福祉統計年報から抜粋

※平成 30 年 4 月現在，美浦村及び阿見町は，取手・竜ヶ崎医療圏です。

○石岡地域では分娩取り扱い医療機関がゼロに！

◆市町村別主な出産医療機関及び出産数（H29）

	石岡市	かすみがうら市	小美玉市
土浦協同病院（土浦市）	150	117	75
根本産婦人科医院（笠間市）	69	3	50
富田産婦人科医院（石岡市） ※平成 29 年 12 月から分娩終了	63	13	35
岩崎病院（水戸市）	8	0	23
県立中央病院（笠間市）	17	0	21
筑波大学付属病院（つくば市）	12	6	
霞ヶ浦医療センター（土浦市）	0	11	
なないろレディースクリニック（つくば市）	13	5	
柴田マタニティクリニック（土浦市）	13	18	
水戸済生会病院（水戸市）	8	2	10

※各市統計より

○小児科医と産婦人科医の確保が喫緊の課題

- ・市町村別主な出産医療機関および出産数について、石岡地域の妊産婦は、水戸市や笠間市、つくば市など、遠方の医療機関での出産を選択している方もいますが、多くの妊産婦が、土浦協同病院で出産している状況です。また、小児科の医院が少なく、特に、平日夜間に受診できる医院がありません。
- ・出産できる医療機関が石岡地域にないため、遠方の病院へ行かなければならず不便です。
- ・妊婦健診と分娩が別の病院になるのは不安です。
- ・平日夜間の小児科の診療体制を整えてほしいです。
- ・小児科医と産婦人科医の確保をしてほしいです。
- ・少子化対策において産婦人科医がいなくて分娩できないということが、若い人たちの定住や 20 代・30 代の夫婦の定住を妨げる一つの要因になるのではと懸念しています。
- ・少ない産科医をどこかの病院あたりに集約して、それでお産をやっていくのが時代の流れだと思います。個人の産科医を誘致してここで開業してくださいというのは現実的ではないと思います。その上で、やはり産科医を呼んだ方がいいと思いますし、それとともに産科医が必要であれば小児科医が必要なのはもちろんなので、周産期医療、それができるような病院が必要です。ですから、病院そのものもある程度の集約化が必要ではないかと思っています。

○医師の負担軽減のために、コンビニ受診の防止を

- ・茨城こども救急電話相談 # 8000 番の救急窓口でアドバイスを受けたり、冊子「子どもの救急ってどんなとき？」を参考にしたりしながらコンビニ受診をしないよう住民の姿勢も変えていかなければならないと思います。

【緊急診療対策事業の維持及び充実】

(現状・課題等)

○現在、平日夜間は初期救急診療がない状況

休日夜間緊急診療等については、診療科ごとに、次のように対応しています。

○休日夜間緊急診療業務内容(対象地域:石岡市・かすみがうら市・小美玉市)

項目		内 容		
内科	休日診療 (昼間)	診療場所	石岡市大砂 10528 番地 25 石岡市緊急診療(石岡市医師会病院)	
		診 療 日	休日:日曜日, 祝日 年末:12月30日, 31日 年始:1月1日, 2日, 3日	
		受付時間	午前9時~11時30分 午後1時~3時30分	
		診療時間	午前9時~午後4時	
小児科	夜間診療	診療場所	石岡市大砂 10528 番地 25 石岡市緊急診療(石岡市医師会病院)	
		診 療 日	休日:日曜日, 祝日 年末:12月30日, 31日 年始:1月1日, 2日, 3日 土曜日	
		受付時間	午後6時~9時30分	
		診療時間	午後6時~10時	
外科 歯科	休日診療 (昼間)	診 療 場 所	在宅当番医制により診療にあたる各医療機関	
		診 療 日	外科	休日:日曜日・祝日 年末:12月30日, 31日 年始:1月1日, 2日, 3日
			歯科	GW:5月3日, 4日, 5日 お盆:8月14日, 15日, 16日 年末:12月29日, 30日, 31日 年始:1月1日, 2日, 3日
		受付時間	午前9時~11時30分 午後1時~3時30分	
診療時間	午前9時~午後4時			
第二次救急診療 (重症救急患者)	診療場所	病院群輪番制により診療にあたる医療機関		
	診 療 日	休日【日曜日・祝日・年末年始(12/29~1/3)】 及び毎夜間		
	診療時間	休日:午前8時~午後6時 夜間:午後6時~翌日の午前8時		

(初期救急診療) 比較的軽度の症状への対応

- ・内科・小児科については、石岡市医師会の協力のもと、緊急診療業務として、休日夜間診療に対応しています。
- ・外科・歯科については、石岡市医師会および歯科医師会の協力のもと、診療にあたる医療機関持ち回りにより対応しています。

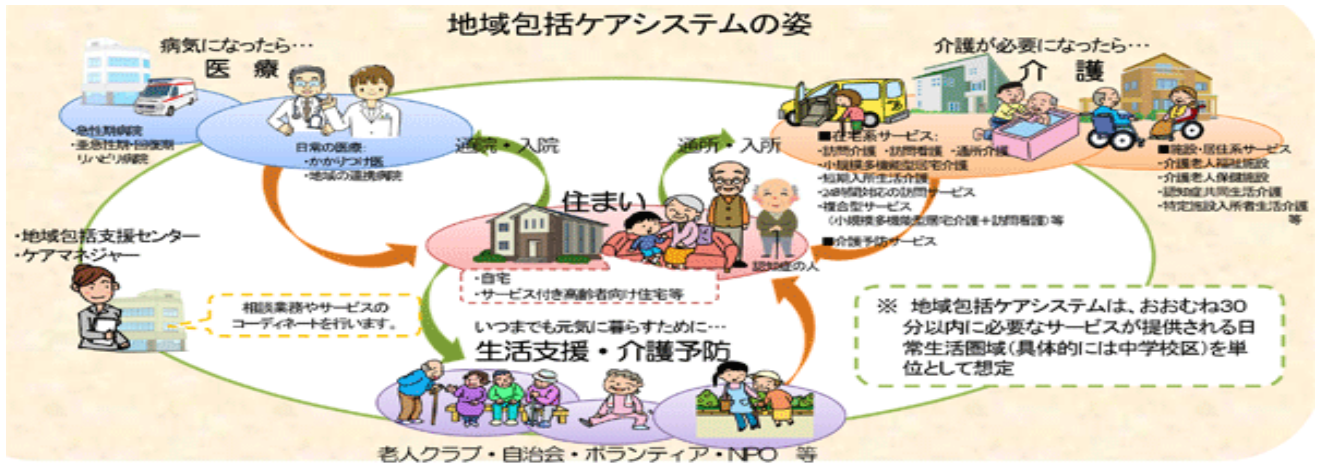
(第二次救急診療) 緊急に入院・手術が必要な患者への対応

- ・石岡市医師会病院, 石岡第一病院, 石岡循環器科脳神経外科病院および山王台病院の協力のもと輪番制により対応しています。

○休日夜間緊急診療に対応する1人の医師にかかる負担増

- ・緊急医療対策事業では、休日緊急診療において、昼間は13人、夜間は10人の医師で対応しているが、現在、医師会所属の医師の平均年齢が63歳であり、今後、市民の方々が安心して医療を受けられる体制が確保できるか危惧しています。

【地域包括ケアシステムの整備】



(現状・課題等)

○往診できる医師の確保が課題

- ・2025年問題で在宅医療を進めて地域包括ケアシステムをつくる取り組みが始まっており、介護、訪問看護、ケアマネージャー等の連携でシステムはできあがりつつありますが、ここで核になるのは訪問診療をする医者です。訪問診療する医者がいて、それをバックアップする病院があって初めて地域包括ケアシステムが成り立つわけですが、実際往診してくれる医者が石岡市内では3人しかいないなど極めて少ない状況です。
- ・地域医療ケアには、訪問診療、在宅医療体制の整備と核となる医師、病院の確保が必須です。

【医療の連携体制の整備】(近くの医院からのスムーズな紹介で総合病院等へ)

(現状・課題等)

○病院の重点化・集約化と医療の連携体制の整備を

- ・大きい病院に行かざるを得ない状態の方もいると思いますが、できるだけホームドクターとして地域の病院でみてもらえば、協同病院の一極集中的なところは避けられると思います。また、いつでも大ききなところにかからなくても対応できるような体制、そして明らかにきちんと診断して頂いて一次救急、二次救急というようなシステムに流れていける様な体制があれば、どんな重大な疾患であっても対応することができるのではないかと思います。

●課題等への対策

○短期的な医師確保対策

○夜間診療の充実

○医療の連携体制の整備

○地方だけでの取り組みではなく、国レベルの解決策を

●今後のスケジュール等

平成30年度 全3回開催予定

第2回 8月 課題の共有と解決策の抽出など方向性を協議

第3回 10月～11月 解決に向けての具体案を協議（翌年度予算計上）